

## ご利用案内

## information

開館時間 9:30～17:30（入館は閉館の30分前まで）

休館日 毎週月曜日（月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日）  
年末年始

## 観覧料

## ●企画展観覧料

- ・観覧料は、企画展ごとに設定いたします（HPをご覧ください）。
- ・企画展観覧の方は、AURORA（常設展）も無料でご覧いただけます。

## ●AURORA（常設展）観覧料

	一般	高校生・大学生	65歳以上
個人	400円	300円	300円
団体	320円	240円	240円

※団体は、有料のお客さま20名以上

※中学生以下は無料

※中学生・高校生・大学生（高専・専門学校・専修学校生含む）は  
生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

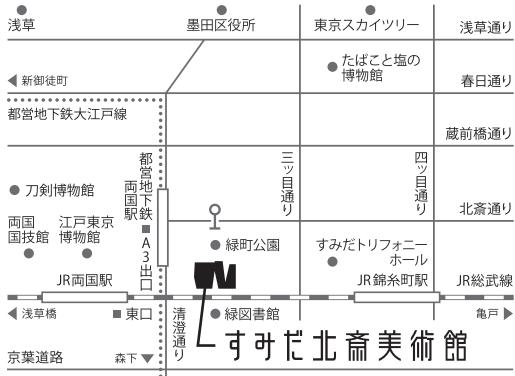
※身体障がい者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉  
手帳・被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで  
無料です（入館の際は障がい者手帳などの提示をお願いします）。

## 交通

都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3出口より徒歩5分

JR総武線「両国駅」東口より徒歩9分

JR総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分



## 支援者の皆様

■ネーミングライツ・パートナー：東京東信用金庫／丸源飲料工業株式会社

■共同創設者：渡辺ババ株式会社／東京東信用金庫／東武グループ／

オリックス株式会社／株式会社シェイコム東京・すみだ・台東局／柳嶋 妙見山 法性寺／

花王株式会社／河原工業株式会社／

凸版印刷株式会社／国際アソシエーションセンター株式会社

■北斎オフィシャルサポーター：株式会社浜友商事

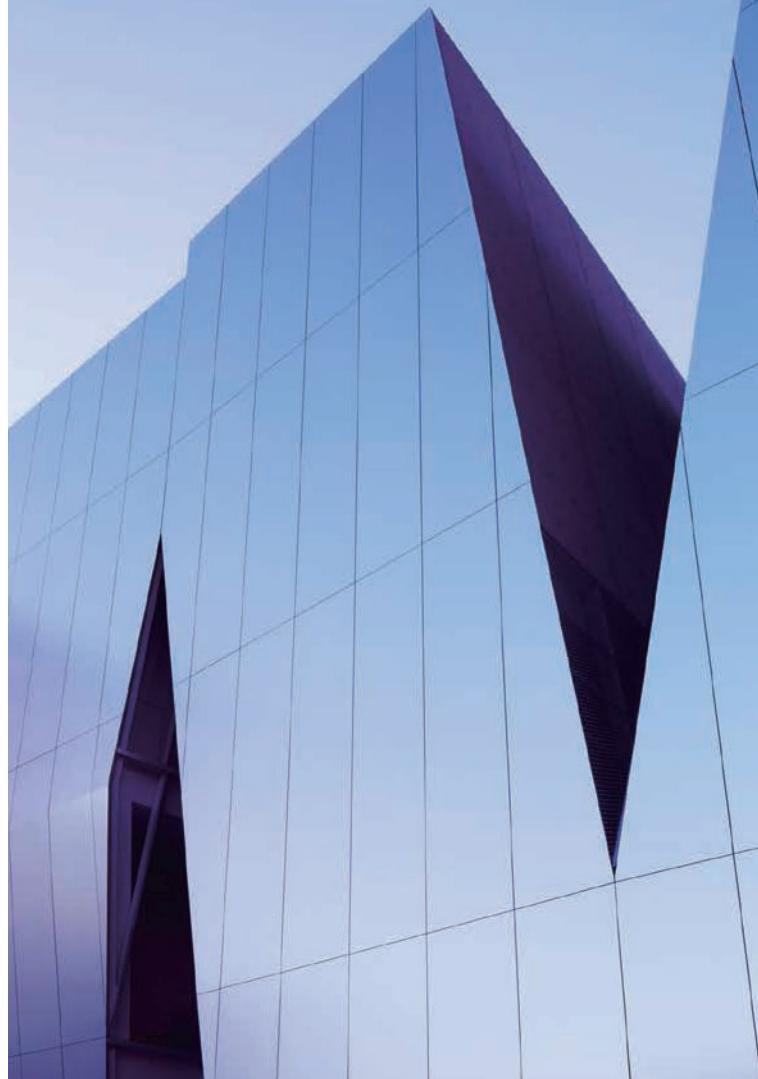


すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2 TEL 03-6658-8936  
<https://hokusai-museum.jp>

2021.12 10000 Photos©Forward Stroke etc.

# すみだ北斎美術館



# すみだと北斎

世界的な芸術家として評価の高い葛飾北斎(1760～1849)は、すみだの地で生まれ、およそ90年の生涯のほとんどをすみだで過ごしながら、優れた作品を描きました。

すみだ北斎美術館では、すみだの風景を描いた北斎作品も数多く収蔵しています。

## 北斎生誕の地・本所割下水



安政2（1855）年  
「本所絵図」より、本所割下水付近

北斎は、宝暦10（1760）年に本所割下水（現在の北斎通り）付近で生まれました。割下水の名前の由来は、通りの中央に掘割が掘られていたためです。

北斎は幼少のころより物の形を写す（絵を描く）ことを好んだと伝えられています。



## 北斎と忠臣蔵

北斎の曾祖父は、赤穂浪士討ち入りの夜、吉良上野介を守って討死にした小林平八郎だと北斎自ら語っていたそうです。

仮名手本忠臣蔵 十一だん目



## 北斎が描いた隅田川

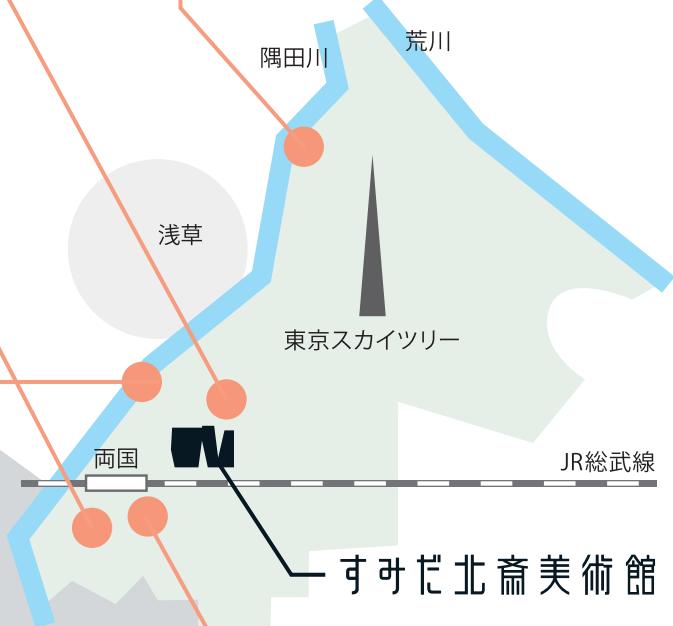
両国橋、廻橋、関屋の里、木母寺、隅田川神社、白鬚神社、新柳橋、駒止石…。北斎は隅田川のさまざまな光景や人々の姿をいきいきと描きだしています。

富嶽三十六景 御廻川岸より両国橋夕陽見



## 幻の奉納大絵馬 牛嶋神社

北斎は、弘化2（1845）年頃、牛嶋神社の近くに住んでいたといわれ、大絵馬「須佐之男命厄神退治之図」を描き奉納しています。残念ながらこの大絵馬は関東大震災で焼失してしまいましたが、美術館では、この推定復元絵馬を常設展示しています。



## 北斎が暮らした榛馬場

生涯に93回の引っ越しをしたと伝えられる北斎。天保年間（1830～44）の末頃、北斎は娘のお栄（画号は応為）と本所亀沢町の榛馬場に移り住みました。北斎の弟子・露木為一が親子の住まいの様子を絵に残しています。



露木為一画「北斎仮宅之図」（国立国会図書館蔵）

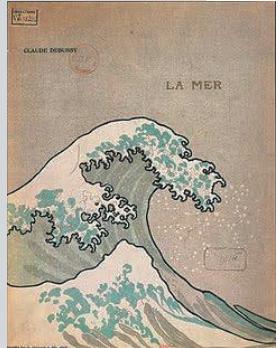
# 世界の北斎

北斎の作品は海を渡り、ゴッホやモネなどをはじめ多くの芸術家たちに影響を与えたといわれています。

特に「富嶽三十六景」と『北斎漫画』は海外でも著名です。

作曲家のドビュッシーは「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の影響を受け1905年に交響詩「海」を作曲し、画家のアンリ・リヴィエールは「エッフェル塔三十六景」を描いています。

1998年にはアメリカの雑誌「ライフ」で「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」の中で日本人で唯一北斎が選ばれています。



ドビュッシー 交響詩「海」  
楽譜の表紙

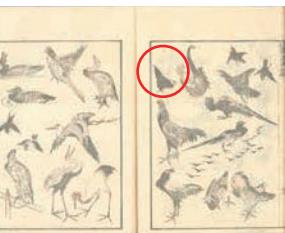


富嶽三十六景 神奈川沖浪裏

すみだ北斎美術館を支える  
3つのコレクション

世界に誇る  
ピーター・モースコレクション、  
樋崎コレクションに加え、  
墨田区が収集した優品を収蔵

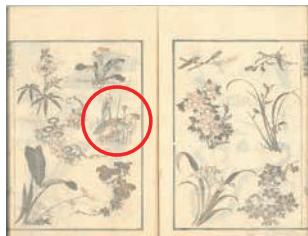
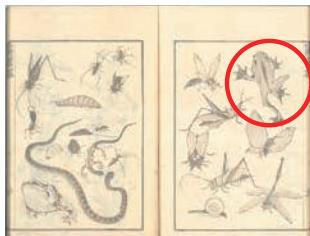
世界有数の北斎作品収集家であり、研究者であったピーター・モース氏のコレクション。また、浮世絵研究の日本における第一人者といわれた樋崎宗重博士のコレクション。これらに加え、北斎とその門人を中心に、保存状態や摺りの質の高さ、希少性、研究的な価値などを配慮して収集してきた、墨田区が独自に収集し続けているコレクションがあります。これらのコレクションを活用し、多彩で独自のテーマの企画展を開催してまいります。



『北斎漫画』初編より

ブラックモンとルソーが  
共同製作した丸皿

フェリックス・ブラックモン(1833-1914)  
「セリニス・ルソー(軟質陶器の食器セット)」丸皿  
1876-1884 オルセー美術館所蔵  
©Musée d'Orsay, Dist. RMN-Grand Palais / Patrice Schmidt / distributed by AMF



『北斎漫画』初編より

『北斎漫画』初編より



富嶽三十六景 武州玉川  
(ピーター・モース コレクション)



富嶽三十六景 甲州石班澤  
(ピーター・モース コレクション)

# 成長する 美術館

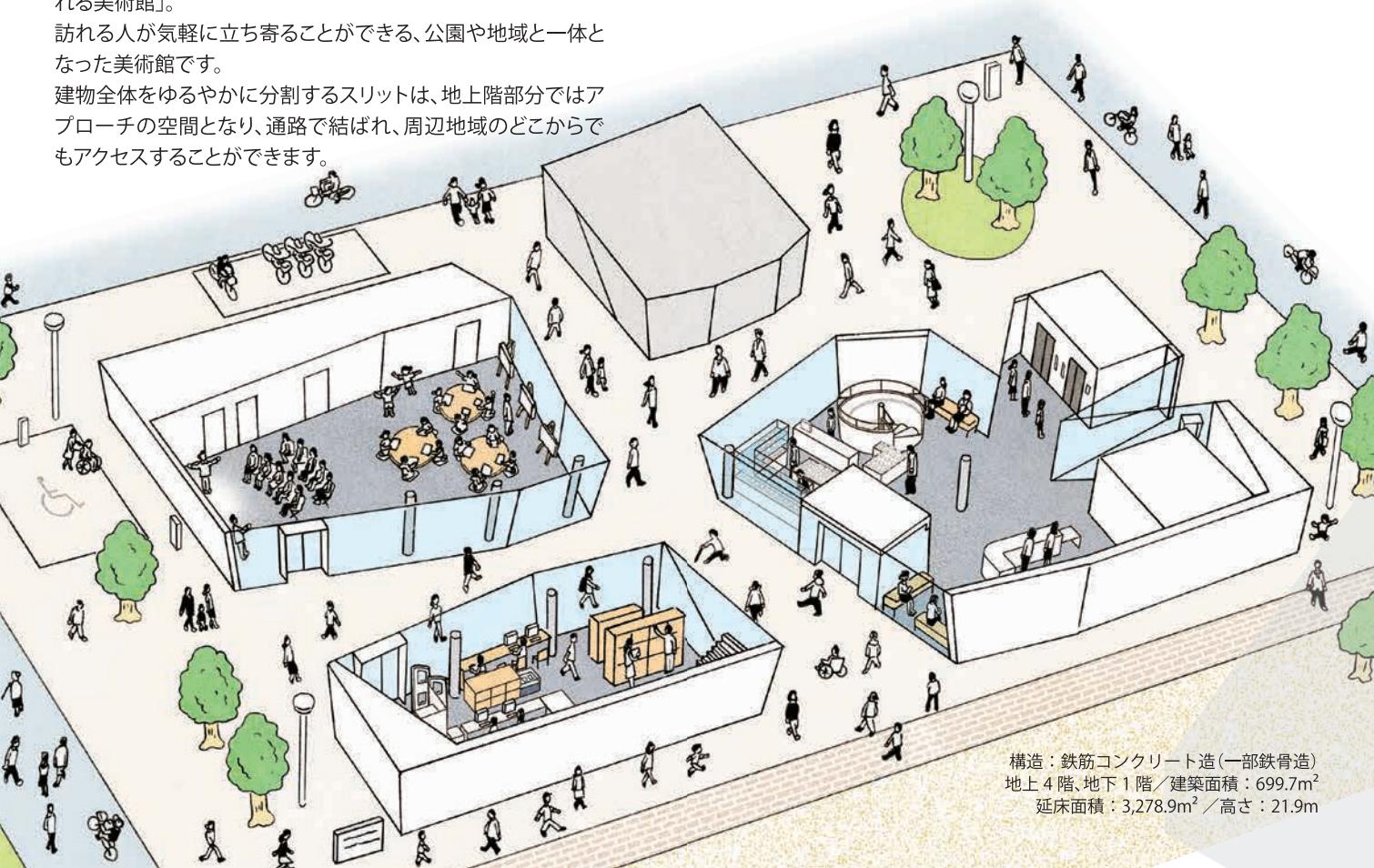
すみだで生まれその生涯の多くを墨田区内で過ごした葛飾北斎。この美術館では北斎や門人の作品を広く紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどを分かりやすく紹介していく多彩なテーマの展覧会や教育普及事業を行い、地域へ、世界へと北斎に関する情報を発信し成長し続ける美術館となり、文化振興や地域活性化の拠点となります。

## 街に開き、親しまれる美術館

建築設計のコンセプトは「街に開き、地域住民の方々に親しまれる美術館」。

訪れる人が気軽に立ち寄ることができる、公園や地域と一緒にとなった美術館です。

建物全体をゆるやかに分割するスリットは、地上階部分ではアプローチの空間となり、通路で結ばれ、周辺地域のどこからでもアクセスすることができます。



構造：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）  
地上4階、地下1階／建築面積：699.7m<sup>2</sup>  
延床面積：3,278.9m<sup>2</sup>／高さ：21.9m

# フロアガイド

すみだ北斎美術館では、北斎や門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどについて分かりやすく知り、学ぶことができるよう、多彩なテーマの展覧会やワークショップ、イベント等について、情報提供や情報発信を行います。



## MARUGEN 100

(講座室)

子どもから大人まで幅広い層を対象とした、北斎や浮世絵などをテーマとしたワークショップやイベント、講座、講演会などを開催します。

講座室の貸し出しも行っています。詳しくは当館までお問い合わせください。

## 図書室



北斎や浮世絵に関する入門書から専門書、画集、図録などをゆっくりと閲覧することができます。

## ミュージアムショップ

北斎や浮世絵に関するグッズをはじめ、すみだや当館ならではのグッズを販売しています。



## だれでもトイレ

どなたでもご利用いただけるバリアフリートイレです。



## 総合案内 チケットうりば

総合案内では美術館に関する各種のご案内やチケットの販売を行っています。車イスやベビーカーの貸し出しあっても行っています(無料)。



## B1

### ロッカー

返金式のコインロッカーです。

### 授乳室



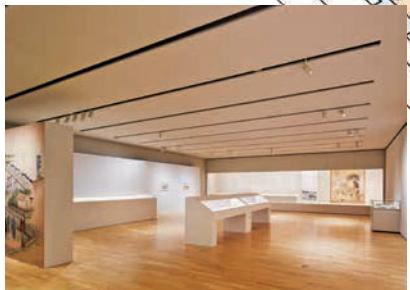


北斎とすみだとの関わりや北斎の生涯を作品（高精細レプリカ）やタッチパネル式情報端末で楽しみながら理解を深めることができる展示室です。

## AURORA

（常設展示室）

## 企画展示室



当館所蔵の作品をはじめ、国内外の作品も交えながら、多彩なテーマの展覧会を開催します。デリケートな浮世絵作品を守りながら展示する機能・設備を備えています。

## 企画展示室

## 展望ラウンジ

東京スカイツリーをはじめ、すみだの風景を楽しみながらゆっくりくつろげるラウンジです。

4F

3F

## ホワイエ

休憩スペースとしてだけではなく、さまざまな展示やワークショップなどが可能なスペースです。

